第９期
越谷市高齢者保健福祉計画・
介護保険事業計画

安心・支え合い・いきいき高齢者プラン

はじめに

1970年代に65歳以上の人口割合が7パーセントを超え、「高齢化社会」を迎えたわが国は、その後1990年代中頃に、その割合が14パーセントを超え、「高齢社会」を迎えました。急速な高齢化は、介護を必要とする高齢者の増加とともに、その家族にとっても介護による離職や生活環境の変化をもたらし、また、核家族化の進行に伴い、介護の負担を誰が担っていくのかといったことが、社会問題となりました。

こうしたことから、家族の負担を軽減するとともに、介護を社会全体で支える仕組みとして、平成12年(2000年)に介護保険制度が開始され、まもなく四半世紀を迎えようとしておりますが、65歳以上の人口割合は、年々増加し、今やわが国は、いわゆる「超高齢社会」の中におります。こうした状況は、本市も例外ではなく、高齢者人口の割合は、現在、25パーセントを大きく超え、4人に1人以上が65歳以上の高齢者となっております。なお、近い将来に目を向けると、令和7年(2025年)には、団塊の世代の方が全員75歳以上となり、さらに、中長期の令和22年(2040年)には、高齢者人口がピークに達すると言われております。

このような状況下において介護保険制度は、ますます必要不可欠な制度となり、同時に、厳しい運営を迫られることとなりますが、持続可能な制度として安定的に運営していくことは、保険者として大変重要なことであると認識しております。

そこで、本市では、基本目標に「ともに支え合いながら、高齢者が住み慣れた地域で安心して生きがいのある生活を送ることができるまちを目指す」ことを掲げ、その実現に向けて取り組むべき事業を定めた第 9 期越谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定いたしました。

これまでも、本市では、第 1 期から第 8 期までの計画において、市民・企業・行政の協働による参加型福祉により、計画を着実に進めてまいりましたが、本計画の目標実現にあたりましても、決して行政のみで遂行できるものではなく、市民と企業、行政が互いに役割を分担し、協働して取り組んでいくことが、大変重要であるものと考えておりますので、引き続き、皆さまからの一層のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本計画策定にあたりまして、熱心にご審議いただきました越谷市介護保険運営協議会委員の皆さまをはじめ、計画策定に係る基礎調査やパブリックコメントなどの実施にご協力いただきました皆さまに心からお礼を申し上げます。

令和6年3月

越谷市長　福　田　　晃

＜　目　次　＞

第1章　計画の概要 1
　1　計画策定の背景と趣旨 3
　2　計画の性格と位置づけ 5
　3　計画の期間 7
　4　計画の基本理念、長寿福祉社会像、計画の基本目標 8
　5　計画策定の体制 11

第2章　高齢者等の現状と課題 13
　1　高齢者人口の状況 15
　2　アンケート調査結果の要点 23
　3　第8期計画のふりかえりと今後の課題 36

第3章　日常生活圏域と 2040 年等のすがた 41
　1「日常生活圏域」の設定 43
　2　将来人口の推計 45

第4章　施策の展開 51
　主要施策1　高齢者の社会参加の促進と健康寿命の延伸 58
　主要施策2　地域で安心して暮らせる支援体制の充実 69
　主要施策3　介護サービスや住まいなどの基盤整備 89
　主要施策4　介護人材の確保と介護現場の生産性向上 107
　主要施策5　医療と介護の連携 111
　主要施策6　認知症と共に生きる施策の推進 117

第5章　介護保険事業の展開 123
　1　介護保険事業の現状 125
　2　介護保険サービスの推計 134
　3　地域支援事業 152
　4　介護保険事業費の推計と介護保険料の設定 158

第6章　計画の推進と進行管理 167
　1　計画の進行管理 169
　2　目標の設定と施策の達成状況の評価 169
　3　効果的な情報提供の実施 170

資料 171
資料1　本計画における数値目標一覧（再掲） 173
資料2　第8期と第9期の保険料の比較 176
資料3　各地区の状況 178
資料4　地区別施設及び事業所一覧 192
資料5　越谷市介護保険運営協議会 194
資料6　越谷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画検討委員会 200
資料7　計画策定までの経緯 203
資料8　用語の説明 205